

# くらしの10年ロードマップ<sup>o</sup> (概要)

令和6年2月 デコ活応援団 (新国民運動・官民連携協議会)

初めて**国民・消費者目線**で、**脱炭素につながる豊かな暮らしの道筋** (課題と仕掛け) を **全領域** (衣食住・職・移動・買物) で明らかにし、**官民連携**により行動変容・ライフスタイル転換を促進

## 国民にとっての**ボトルネック**

**意欲**

- 導入メリット・意義が不明
- 昔のイメージのまま敬遠
- 手間・難しさの忌避感
- 問題への理解・関心不足

**実践**

- 初期費用・大規模支出
- 導入に時間がかかる
- 機会・情報が限定・不十分
- 慣習・制度が実践を妨げ

## 課題解消に向けた**仕掛け** (主な対策)

	2024~2026	2027~2029	2030~
メリット・意義、最新情報を導入機会と同時に伝達 (商業・公共施設等を体験・体感の場に)			
新築/既存住宅リフォーム+太陽光発電設備・高効率給湯器等のパッケージ化			<b>住</b>
商品・ブランド別のエシカル度の見える化			<b>衣</b>
サステナブルツアー (出張・旅行 等)、カーボンオフセット付き旅行保険等			<b>移</b>
科学的情報等を行動とセットで提供 (DXを活用したワクワク感、楽しさなどの動機付け)			<b>基盤</b>
サブスクリプション型サービスやPPA・リース、環境配慮型ローン等の提供拡大			
公的支援情報を分かりやすく提供し、複数補助制度の一括申請の受付を拡大			<b>住</b>
通常リフォームに合わせた+aの断熱、家電販売時の省エネ・再エネのパッケージ提案			<b>住</b>
リペア、アップサイクル・染め直し等、衣類の交換会、回収リサイクルの場の拡大			<b>衣</b>
フードシェアリング、フードドライブ・フードバンク活動、エシカル商品サービス等の拡大			<b>買・食</b>
テレワークとマッチするよう必要に応じてルール見直し、必要なサービス・インフラ・情報提供			<b>職</b>
データ活用した行動見える化、デマンドレスポンス、住民・従業員へのインセンティブ拡大			<b>基盤</b>
費用対効果に優れた気付き・ナッジの提供			<b>基盤</b>

行動制約



行動変容・ライフスタイル転換

# ロードマップのスコープ (暮らし全領域を大きく7分野に)

## 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

- 1 住[外] 住宅の省エネ化・再エネ導入 (断熱化、太陽光発電等)
- 2 住[内] エコグッズの選択 (LED、家電、給湯、節水等)
- 3 衣 クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションの実践
- 4 買・食 地産地消、適量購入・食べきりごみの削減・分別
- 5 職 テレワークの実践
- 6 移 電動車の購入 環境負荷がより少ない移動手段の選択
- 7 基盤 情報 (教育・ナッジ) インセンティブ

**太陽光発電**  
年5.3万円 DOWN  
災害時にも使える

**高効率給湯器**  
年3.5万円 DOWN

**サステナブルファッション**

**はかり売り・自動決済**  
年3時間 UP  
好きなものを好きなだけ

**住宅の断熱化**  
(窓・屋根・壁・床)  
年9.4万円 DOWN  
ヒートショック防止

**LED照明**  
年3千円 DOWN  
年0.4時間 UP

**省エネ家電**  
(冷蔵庫・エアコン・HEMS)  
年2.8万円 DOWN

**テレワーク**  
年6.1万円 DOWN  
年275時間 UP

**公共交通・自転車・徒歩**  
年1.2万円 DOWN

**電動車**  
年7.5万円 DOWN  
自動運転で年323時間 UP  
給油不要なら年2時間 UP

**ごみの削減・分別**  
年4千円 DOWN

**クールビズ・ウォームビズ**  
年4千円 DOWN

**地産地消・食べきり**  
年9千円 DOWN

**節水**  
(キッチン・洗濯機・シャワー・トイレ)  
年1.6万円 DOWN

凡例：トロフィーガイド  
↑ 機会がある方は  
↓ みんなで

毎月3万6千円浮きます (年43万円) 一日プラス1時間以上を好きなことに (年388時間)